



博物館だより 2018年 冬号 *The Museum Letter*

葛飾区郷土と天文の博物館 | Katsushika City Museum

Contents



企画展
家内町全商売繁盛

厄除けと
初福の縁起物

2018 Winter ▶ 2019 Spring 博物館NEWS&TOPICS



特別企画展示室が
12月下旬に
リニューアル・
オープン!

葛飾区オリジナルグッズ
「かつしか郷土かるた」



博物館の
年末年始
カレンダー



博物館で
待ってるじゃ



No.

1 2 2



この冬から春にかけての
 博物館のニュースや話題をピックアップ。

博物館のウェブサイトでは、こちらで掲載しきれないことも色々ご紹介しています。
 ぜひ合わせてチェックしてくださいね!

新番組 プラネタリウム秋の番組

「星空の中へ — Into the Night Sky —」

宇宙の奥行きを感じてみよう。
 想像を絶する彼方から降り注ぐ、星々の光。
 星までの距離は、どのようにしてわかったのだろうか。
 最新のプラネタリウムで飛び込んでみよう。遙かな星たちの世界へ。



上映期間 平成30年10月30日 ▶ 12月27日

新番組 プラネタリウム冬の番組

今度のテーマは、ブラックホール!?

ブラックホールとは何か、どこにあるのか、どこまでわかっているのか。
 1月末からスタートする新番組では、プラネタリウムを駆使して、
 謎に満ちた天体・ブラックホールの素顔に迫ります。

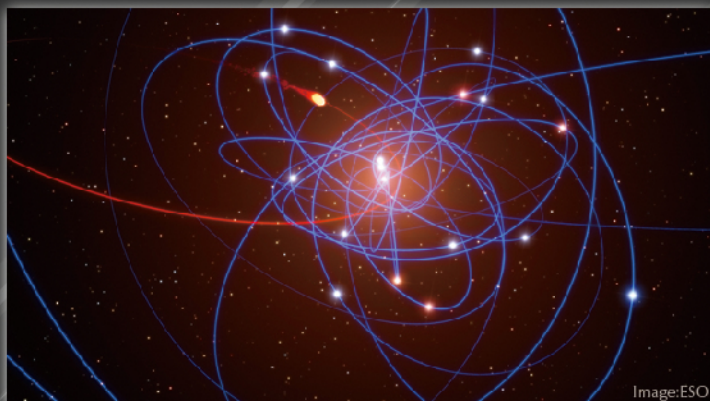


Image: ESO

上映期間 平成31年1月29日 ▶ 4月中旬

プラネタリウム入場者数*がまもなく100

おかげさまで、たくさんの方に足を運んでいただき、まもなく100万人を当館が開館したのは平成3年。オリジナル番組の制作と生解説という100本以上の番組を上映してきました。今年6月にはスクリーンや機器、イン星空や迫力ある宇宙を描けるようになり、より快適な空間になりました。触れる身近な場所、そして宇宙の不思議やワクワクする感動を共有し合える

万人突破!

迎えます。
 スタイルにこだわり、現在までにテリアを一新し、さらに美しいこれからも皆様にとって宇宙に場所でありたいと願っています。



体験型イベントが盛りだくさん!

この他にも、葛飾区の歴史や文化を学ぶ講座や、自然とふれあうイベント、宇宙に関する講演会やプラネタリウムコンサートなど随時開催中!



かつしか調査隊「ミニ門松作り」

ミニ門松を作って、新年を迎える準備をしてみませんか?
 平成30年 12月24日(月・祝)
午前の部 午前10時～正午 **午後の部** 午後1時～3時

会場	当館
対象	どなたでも、各回20人(多数抽選)
費用	1,000円(材料費・1人あたり)
講師	NPO法人葛飾アクティブ.COM、当館職員
持ち物	エプロン
キーワード	「門松」
必須事項	ご希望の回(午前または午後のいずれか)

お申込み:
ハガキまたは**電子申請**
 申込締切:
 平成30年12月14日(金)(必着)



竹細工教室～手作り竹あんどん～

LEDライトで光る竹あんどんを、のこぎりやドリルを使って手作りします。
 平成31年 1月20日(日)
午前の部 午前9時30分～正午 **午後の部** 午後1時～3時30分

会場	当館
対象	小学4年生以上の小・中学生とその保護者、20人(多数抽選)※保護者の同伴が必要です
費用	200円
講師	田んぼサポーター、当館職員
キーワード	「竹細工」
必須事項	学年、保護者の氏名、ご希望の回(午前または午後のいずれか)

お申込み:
ハガキまたは**電子申請**
 申込締切:
 平成31年1月5日(土)(必着)



みそ作り体験

音ながらの手作り味噌の作り方を指導します。米糀、塩、大豆で味噌を作ってみませんか。約2.5キロの味噌が出来ます。
 平成31年 2月10日(日) 午後2時～4時

会場	南綾瀬地区センター(堀切7-8-22)
対象	どなたでも、20人(多数抽選)
費用	3,000円(材料費・1人あたり)
講師	葛飾田んぼ倶楽部、当館職員
持ち物	エプロン、三角巾など頭を覆うもの、味噌を長期保管できる容器
キーワード	「みそ作り」

お申込み:
ハガキのみ
 申込締切:
 平成31年1月22日(火)(必着)



こころ 糀の料理教室～塩麴作り教室～

糀について学び、塩麴を作ります。作った塩麴は持ち帰れます。塩麴を使った料理の試食もあります。
 平成31年 2月17日(日) 午後2時～4時

会場	当館
対象	どなたでも、50人(多数抽選)
費用	800円(材料費・1人あたり)
講師	日本酒作りサークル「葛飾酒作り本舗」、当館職員
持ち物	エプロン、三角巾など頭を覆うもの、塩麴を持ち帰る容器
キーワード	「糀の料理教室」

お申込み:
ハガキまたは**電子申請**
 申込締切:
 平成31年2月5日(火)(必着)

お申込み方法

往復ハガキ 参加される方全員の住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号と、各イベントのキーワード・必須事項(項目がある場合)を書いて、申込み締切日«必着»までにご送付ください。

宛先 〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1 葛飾区郷土と天文の博物館

電子申請(インターネット)での申込み 当館のウェブサイトからアクセスできます。裏表紙のQRコードをぜひご利用ください。
 ※電子申請はイベントが「広報かつしか」に掲載後利用開始となるため、ご覧いただいた時にまだご利用いただけません場合があります。

企画展 家内留全商売繁盛

平成30年12月22日(土)

平成31年2月3日(日)

昭和30年代に流行した枝成金



厄除けと招福の縁起物

人生は思いどおりにはいかないもの。なにが起るかわからない世の中で、「できるだけ幸せ多く、笑顔で暮らしたい」というのが誰しも思うことです。縁起物にはそんな人々の思いが託されています。東京下町は、一年を通じて縁起物を鬻ぐ市や年中行事があります。そこで見られる縁起物の歴史をひもときながら、人々がどんな幸せを求めたのか考えてみたいと思います。

特別企画展示室は12月にリニューアルオープン！新しくなった展示室でぜひご覧ください。

1 東京下町の縁起物

巨大都市、江戸には武家屋敷、町人の棲む町家、商家などがあり、様々な職業の人たちが集住していました。一年の幸福を願う正月の飾りつけなども早くから装飾性のあるものが作られ伝えられていました。

2 赤い色の縁起物 縁起物の色彩と民俗文化

「赤い色」は、6世紀の中国南方の長江流域の年中行事について記した「荆楚歳時記」に様々な災いを除けるために効果があることが述べられ、日本にもその考え方が伝わったと考えられています。その考え方は江戸時代になると、江戸の町で顕著になり、病気平癒や子どもの成長を祈願するために赤い色の縁起物を求めるようになります。「赤い色で災厄を防ぐ」という考え方は明治以降の庶民生活にも広く浸透し、災いを避けるために赤飯や小豆粥を食べ、赤いふんどしやちゃんちゃんこなどを身に着ける民俗が伝えられました。



鴻巣市の三ツ木神社にある猿の石像

3 だるま流行

だるまは中国の不倒翁を発祥とする縁起物です。江戸時代末期、江戸で考案



だるま抱き猫



された張り子のだるまが、養蚕のさかんな群馬県高崎市に伝わり、そこから全国に広まりました。このだるまが縁起物として大流行した要因を、明らかにします。

4 大衆化する縁起物

明治から大正時代にかけて、人口が急増した東京下町では、縁起物売る場である市(歳の市・酉の市など)やそこに集う人たちが増えました。このような縁起物の流行を支えた要因として、型や化学染料の開発、新素材の発明などがありました。縁起物が大衆化していく過程を背景の世相とともに見ていきます。



鯛を象ったセルロイド製の飾り



5 東京下町の七福神めぐり

七福神めぐりは江戸時代中期にはじまった神社参拝の形式です。七つの聖地を廻り、ご利益を希求する心意は日本の民俗行事に頻出する事例ですが、東京下町では七福神めぐりとして定着しました。東京下町の七福神めぐりの歴史、由緒を紹介します。



6 縁起物作りの現場 葛飾区と縁起物

東京東郊の農村であった葛飾区では江戸時代からしめ飾りや盆の草物など江戸・東京の年中行事に関わるものを作り、販売してきました。また関東大震災以降に人形や羽子板など縁起物を作る職人たちが移住してきました。ここでは葛飾区内の縁起物に関わる職人たちを紹介します。



昭和の初めに作られた熊手

7 併催企画

講演会

事前申込み制 申込み締切日 12月21日(金) 火着

「だるまは商売繁盛のマスコット」

誰しもが知る縁起物の代表「だるま」の知られざる歴史や由緒などを、だるま研究の第一人者がお話します。

日時 平成31年1月6日(日) 午後2時〜4時
講師 全日本だるま研究会会長 中村浩訳氏
会場 当館講堂

ギャラリートーク

担当学芸員が展示の解説をします。直接会場へお越しください。

1 「江戸の正月飾りを徹底解剖」
飾り海老作り職人の若松謙二さんと江戸の町の正月飾りの由来を説き明かします。
日時 平成30年12月22日(土) 午後2時〜4時

2 縁起物の市 幸せを売る現場を訪ねて
東京近郊の縁起物の市を訪ね歩いて見つけたことなどを話します。
日時 平成31年1月14日(月・祝) 午後2時〜4時
会場 1、2 いずれも当館講堂(その後、展示室へ移動します)

柴又七福神を巡る 事前申込み制 申込み締切日 12月21日(金) 火着
博物館ボランティア「葛飾探検団」が案内する柴又七福神。江戸時代から続く民間信仰の歴史を学びます。
日時 平成31年1月20日(日) 午前9時30分〜正午
会場 柴又界隈

▼詳細やお申込み方法は、「博物館ウェブサイト」をご覧ください。

特別企画展示室が12月下旬にリニューアル・オープン!

改修工事が続く博物館ですが、10月から2階の特別企画展示室を改修しています。

壁紙とカーペットの張替えや、展示台の一部補修を行います。
次回企画展(平成30年12月22日)より、リニューアル・オープンします。
企画展の詳細は中面をご覧ください。

葛飾区オリジナルグッズ「かつしか郷土かるた」

学校の郷土学習で活用するとともに、一般の方に販売しています。ご家庭やグループなどで「かるた」を楽しみませんか?

区内の名所や名物が切り絵で色鮮やかに描かれています。

博物館1階の受付で販売しております。

価格 1セット500円(税込) ※地図と解説書付き



博物館の年末年始カレンダー

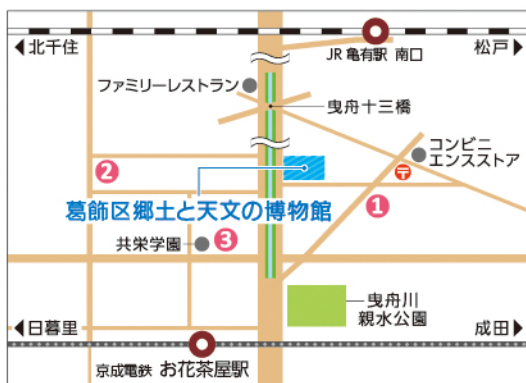
日	月	火	水	木	金	土
12月 23	24	25	26	27	28	29
30	31 おおみそか 大晦日	1月 1 元日	2 正午～5時まで開館	3	4	5 5日から通常どおり

開館
休館

葛飾区郷土と天文の博物館ご利用案内

- 開館時間** 午前9時～午後5時
(金・土曜日は午後9時まで開館。ただし金・土曜日が祝日の場合、午後5時に閉館。入館は閉館の30分前まで)
- 休館日** 月曜日、第2・4火曜日、12月28日～31日、1月1日・4日
(月曜祝日は開館。火曜祝日は開館し翌平日休館)
- 入館料** 大人 100円 小・中学生 50円 幼児無料
(毎週土曜日は中学生以下無料。20人以上の団体は2割引)
- プラネタリウム観覧料** 大人 350円 小・中学生 100円
幼児(座席を使う場合) 50円
(毎週土曜日は中学生以下無料。20人以上の団体は2割引)
- 年間パスポート** 大人 2,000円 中学生以下 700円
購入から1年間、入館とプラネタリウムが見放題になる大変お得なパスポートです。購入時にご希望があれば、「博物館だより」(年3回発行)を1年間お送りします。

アクセス



- 電車** 京成電鉄「お花茶屋」駅から徒歩8分
JR常磐線「亀有」駅から徒歩25分
- バス** ① レインボーかつしか(有71・有72系統)又は京成タウンバス(有70系統)で「白鳥わかば公園」バス停下車 徒歩3分
(有71 金町駅南口～亀有駅南口～ウェルビアかつしか)
(有72 亀有駅南口～ウェルビアかつしか)
(有70 金町駅南口～亀有駅南口～ウェルビアかつしか 又は タウンバス車庫)
- ② 京成タウンバス(有57系統)で「上千葉小学校」バス停下車 徒歩5分
- ③ 京成タウンバス(有57系統)で「共栄学園」バス停下車 徒歩5分
(有57 亀有駅南口～葛飾区役所 又は タウンバス車庫)

博物館だより

発行 葛飾区郷土と天文の博物館
〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1
電話 03-3838-1101 FAX 03-5680-0849
<http://www.museum.city.katsushika.lg.jp/>



この印刷物は、印刷用の紙にリサイクルできます。